

A グループ：事例 1 (高齢女性で認知症が疑われる事例)

専門職としてできること

- ・ 訪問し状況を把握。出て来なければ、メッセージカードを残す
- ・ 民生委員や友人と一緒に訪問できる関係をつくる
- ・ ごみ出し日に手伝いに行き、話すきっかけをつくる
- ・ 市営住宅の管理人と一緒に広報物を持っていく
- ・ 近隣住民に困っていることを聞く
- ・ 居場所（サロン等）を紹介する
- ・ 友人や地域の人と片付けについて話し合う
- ・ お金に困っているか確認し、相談につなぐ
- ・ 介護保険の申請等、サービスの調整を行う
- ・ 病院の受診を勧める。病院に同行する
- ・ 以前、住んでいた地域での地域住民とのつながり等を聞く

地域住民としてできること

- ・ 思いを聞いて、関係をつくる
- ・ 友人に相談できていることを褒める
- ・ 近隣住民が困っていることを本人に伝える
- ・ 友人と一緒に訪問する
- ・ 道で会ったら、立ち止まって話をする
- ・ 自分が運営する居場所（サロン等）に誘う
- ・ 自治会長に見守りを願う
- ・ 民生委員を紹介する
- ・ 市役所に相談する
- ・ 友人に相談先に行くよう言う
- ・ 自分の経験を話す

お互いのできることを生かした連携方法

- ・ 専門職と地域住民が話し合い、共通認識を持つ場
- ・ 本人に合った社会資源の情報の共有
- ・ 専門職と地域住民が連携した本人へのアプローチ
- ・ 本人の困りごとを地域住民が専門職に伝える
- ・ 地域住民の共感を得る
- ・ ごみの片付けやごみ出し支援を専門職と地域住民が一緒に行う

Bグループ：事例1（高齢女性で認知症が疑われる事例）

専門職としてできること

- ・ 民生委員や保健所に相談する
- ・ 民生委員に訪問回数を増やしてもらうよう依頼する
- ・ 病院受診を勧める、病院につなぐ
- ・ 保健師に訪問や同行受診を依頼する
- ・ 市役所の住宅部署や福祉部署と一緒に訪問する
- ・ 市役所の福祉部署につなぐ
- ・ 居場所（サロン等）に誘う

お互いのできることを生かした連携方法

- ・ 専門職と地域住民が連携して居場所（サロン等）や講話・講座に誘う
- ・ 自治会と連携して支え合う（仕組みづくり）
- ・ 支援機関との連携を強化する
- ・ 声が出せない人の声に耳を傾ける体制を考える

地域住民としてできること

- ・ 外で会ったら声をかけ、顔見知りになって、困りごとがないか聞く
- ・ 地域活動に誘う
- ・ 自治会長や民生委員に相談する
- ・ 自治会や民生委員、老人クラブなどで話し合う
- ・ 片付けの手伝いをする
- ・ 地域包括支援センターに相談する
- ・ 居場所（サロン等）に誘う
- ・ ごみ捨てや回覧板を活用して見守る

Cグループ：事例2（親と子2人の4人世帯で、子が家事等を担っている事例）

専門職としてできること

- ・(母)障害福祉サービスのヘルパーが利用できることを伝える
- ・(母)医療機関につなげる、訪問看護を提案する、相談に同行する
- ・(弟)ファミリーサポートセンターやヘルパーによる送迎を提案する
- ・(祖母)地域包括支援センターに同行して相談する
- ・(祖母)病院のソーシャルワーカーや地域包括支援センターと連携してサービスの調整をする
- ・(父)意向を確認する
- ・他にキーパーソンになれる人がいないか確認する
- ・学校のソーシャルワーカーと障害、高齢の相談機関が連携してサービスを提供する
- ・世帯の問題を切り分けて整理する
- ・ヘルパーによる家事支援、買い物支援を提案する

地域住民としてできること

- ・見守りをする
- ・民生委員やふれあいの会で支援する
- ・(A)学校にスムーズに行けるよう自治会で支援する
- ・(A)学校のソーシャルワーカーに相談する
- ・(母)訪問看護を提案する
- ・(弟)送迎を手伝う
- ・(弟)ファミリーサポートセンターによる送迎を提案する
- ・ホームヘルパーの利用を提案する

お互いのできることを生かした連携方法

- ・「何ができるか」を話し合う場を作る
- ・状況を伝える
- ・地域住民が日頃からお互いに相談し合える、助け合える、支え合える地域づくりを進める

Dグループ：事例2（親と子2人の4人世帯で、子が家事等を担っている事例）

<p>専門職としてできること</p> <ul style="list-style-type: none">・(A)学校のソーシャルワーカーにつなぐ・(A)学習支援事業につなぐ・(母)医療機関と連携する・(母)障害者手帳の取得、サービスの利用や年金の申請を手伝う・(弟)ファミリーサポートセンターによる送迎を提案する・(祖母)地域包括支援センターにつなぐ・(父)世帯収入の把握や仕事の調整をする	<p>お互いのできることを生かした連携方法</p> <ul style="list-style-type: none">・専門職と地域住民がチームになって伴走する・地域の行事に誘う
<p>地域住民としてできること</p> <ul style="list-style-type: none">・(A)声をかけたり、話を聞いたりする・(A)勉強の応援をする・(母)保健師や障害者基幹相談支援センターにつなぐ・(母)訪問看護の利用を提案する・(母)同じ立場の人と会える場を紹介する・(弟)主任児童委員につなぐ・(弟)ファミリーサポートセンターによる送迎を提案する・(弟)送迎チームを作って送迎を手伝う・(祖母)看病を手伝う・地域の行事に誘う・家事を手伝う、食事を届ける	